

運動・スポーツの文化的特徴

— 文化としてのスポーツ —

平田 蓮(電子制御工学科 5年 24番)

1. テーマ選定理由

運動を競技としてルールに基づいて行うだけでなく、それを他に指導、継承する文化は人間が独自に有している。

スポーツ、及びその教育が生まれた背景には、先に述べた文化がある。私は現在このスポーツ教育をテーマに卒業研究を行っており、研究を行う上で、スポーツ教育の歴史を調査した。この課題を熟すにあたって先の経験が活きる可能性に思い当たり、更なる調査を行なった。スポーツ教育及び、その背景に渡るスポーツ文化に焦点を当てて保健体育前期レポートとする。

2. テーマについての調査結果

教科書の本小单元では、スポーツとメディアの関わりが取り上げられている。ここではスポーツを民衆に伝えるメディアの遷移に注目する。

古代からある、人々が注目を向けるスポーツイベントとしてまず思い浮かぶのはオリンピックであろう。オリンピックの起源は約 2800 年前のギリシャにあり、当時の主な情報伝達手段は伝令であった。実際に当時のオリンピックは伝令を通して当時の都市間を報知された記録がある。以来、人類の技術の進化とともに、メディアは本、写真、ラジオ、テレビ、インターネットと進化してきた。現代では主に後三者がスポーツを発信する媒体であり、実際に観戦するだけでなく、メディアを通すスポーツの楽しみ方が多く存在する。

3. 考察・まとめ

さて、前節に述べたようにメディアは数千年の時を経て進化した。その最前線にいるのは我々、工学徒である。スポーツ文化の広がりやメディアの発展とともにある現代、今後の技術の発展を担っている我々の責務は重大である。スポーツ文化の発展はスポーツ業界のみにとどまらず、我々も忘れずにしっかりと向き合わなければならない重要な課題である。

4. 授業の自己評価、感想

本授業ではサッカー・フットサルを選択し授業に参加した。全体を通して自己評価を 90 点とする。足りぬ 10 点は、向上はしたものの経験者には及ばぬ技術部分である。

サッカー及びフットサル未経験ながらも、授業外での経験者の友達との練習を行い、授業用に新しい靴を購入するなど、自分なりにスポーツを楽しむ工夫が授業内外でできた。また、欠席も受験期間の特別欠席を除いて無く、高い意欲の表れを感じる。以上を踏まえて自己評価を 90 点とした。

さて、高専生活、場合によっては学生生活で最後の体育の授業が終わるわけであるが、他クラスの学生との関わりが一番多かった半年であった。今まで関わりのなかった学生と友達になったことは特に卒業の近い我々にとっては僥倖であった学生も多かったのではないかな。

最後に授業の進行についてであるが、昨年度より Teams を利用した授業管理が奨められているにもかかわらず、種目選択にこれを利用しておらず、疑問を覚えた。体育館で 3 クラスの膨大な人数をまとめるには否が応でも教員の人手と時間を要するため、これをあらかじめオンラインで済ませておくのは手練であったのではないかな。

参考文献・資料

- 1) メディア進化論, 堀田政二(東京農工大学), <http://web.tuat.ac.jp/~shotta/media/history.pdf>, 2016
- 2) 知ると楽しいスポーツの歴史, HALF TIME, <https://halftime-media.com/sports-market/sports-history-1/>, 2021/01/22
- 3) オリンピックとは, 東京都教育委員会, <https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/games/about-op/about-olympics>, 2015
- 4) 現代高等保健体育 改訂版, 大修館, 2017/04/01